

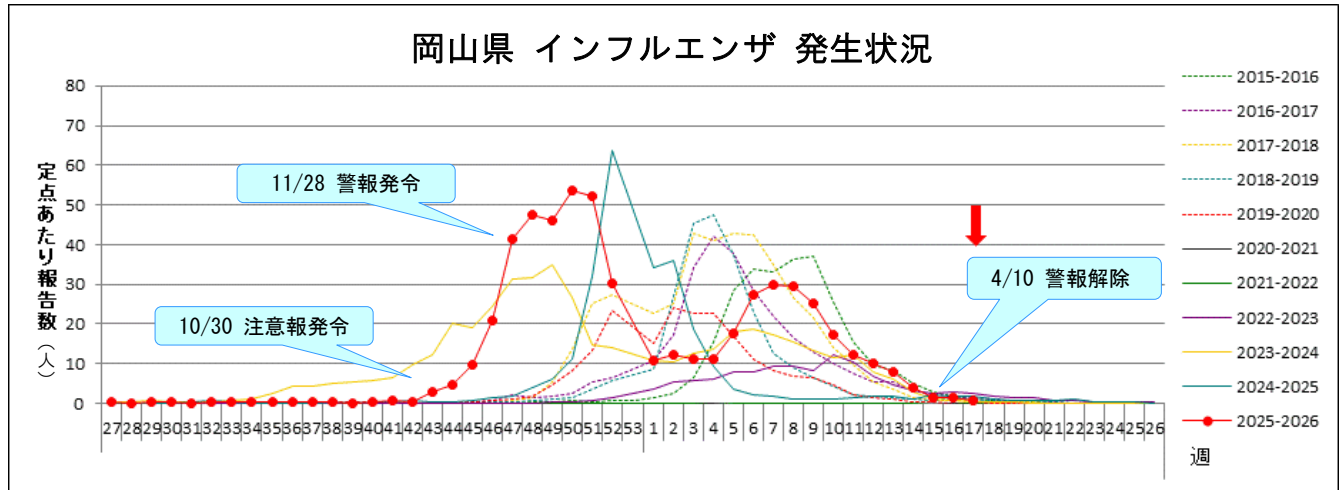
インフルエンザ週報 2026年 第17週 (4月20日～4月26日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

【お知らせ】次週、2026年第18週(4/27～5/3)のインフルエンザ週報は、2026年5月15日(金)にホームページへ掲載いたします。

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で40名(定点あたり0.80人)の報告がありました(50定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者1名の報告がありました。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

※2025年第15週以降定点がインフルエンザ/COVID-19定点(84医療機関)からARI定点(50医療機関)になりました。

インフルエンザは、県全体で40名の報告があり、前週から減少しました(定点あたり1.44→0.80人)。

岡山県は、『**インフルエンザ注意報**』を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、倉敷市(1.42人)、真庭地域(1.00人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策(換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど)に留意し、感染対策に努めましょう。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況(人)		推移	地域名	発生状況(人)		推移
岡山県全体	患者数	40	↓	備中	患者数	3	↓
	定点あたり	0.80			定点あたり	0.60	
岡山市	患者数	13	↓	備北	患者数	1	↓
	定点あたり	0.72			定点あたり	0.25	
倉敷市	患者数	17	↓	真庭	患者数	2	↓
	定点あたり	1.42			定点あたり	1.00	
備前	患者数	2	↓	美作	患者数	2	↑
	定点あたり	0.50			定点あたり	0.40	

【記号の説明】前週からの推移
 ↑ : 大幅な増加 ↗ : 増加 ➡ : ほぼ増減なし ↘ : 減少 ↓ : 大幅な減少
 大幅 : 前週比100%以上の増減 増加・減少 : 前週比10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ

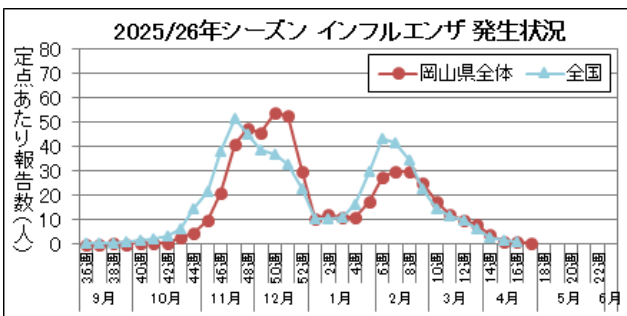
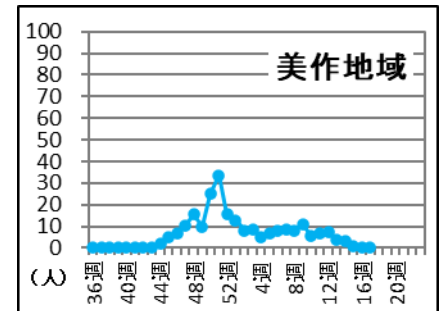
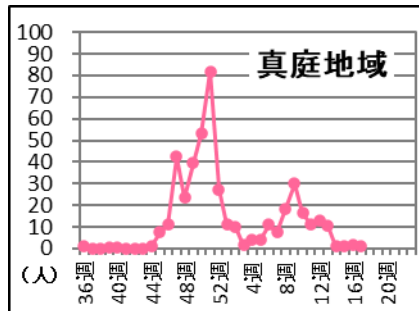
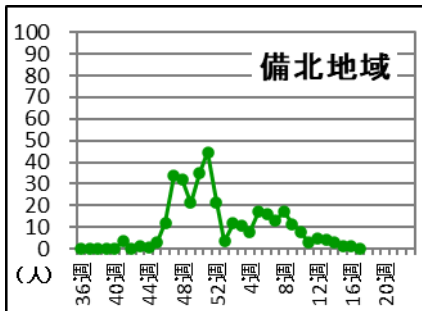
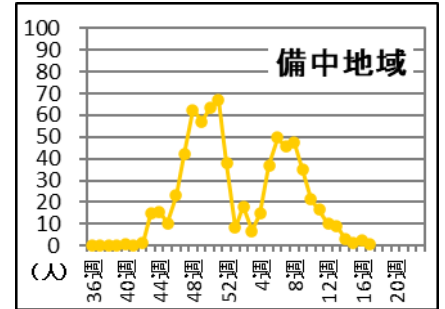
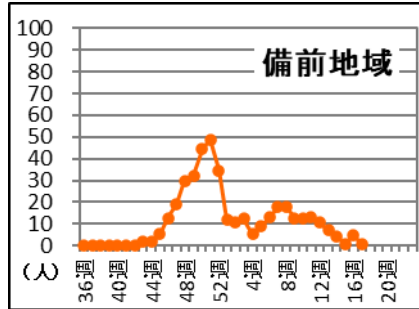
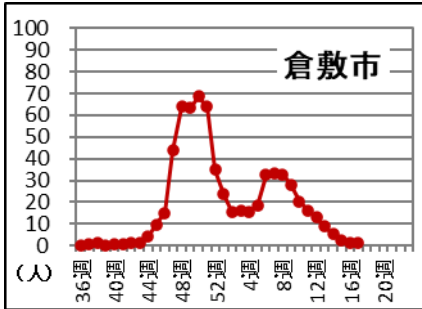
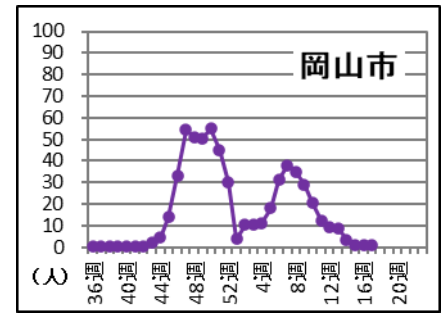


<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 < 10 未満	0

※数字は定点あたり報告数

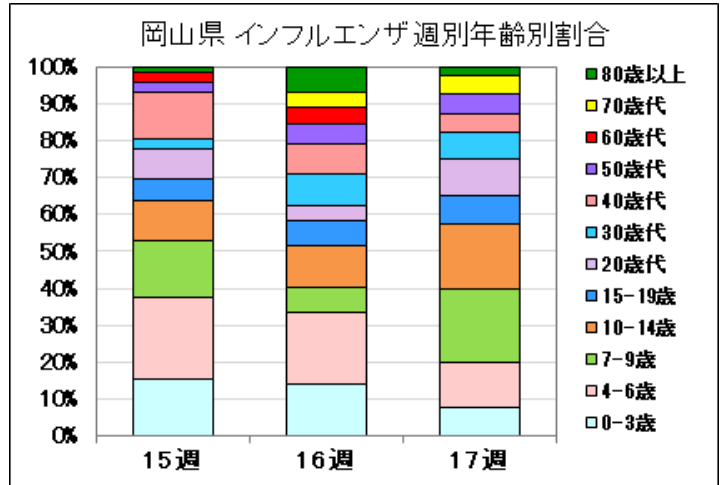
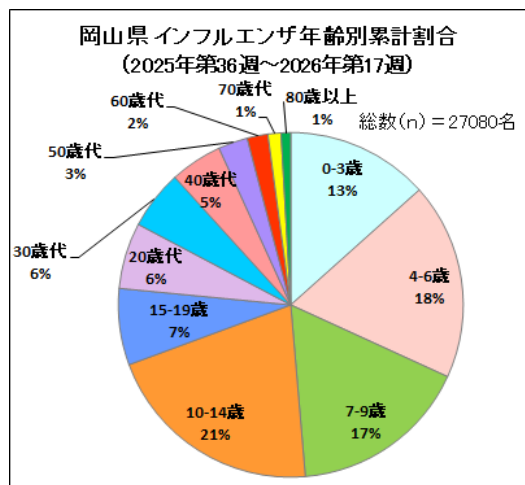


全国集計 2026 年第 16 週 (4/13~4/19) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は、0.92 人となりました。

都道府県別では、山形県 (4.68 人)、沖縄県 (3.48 人)、北海道 (2.79 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。44 都道府県で前週の報告数から減少しました。

[インフルエンザの発生状況について \(厚生労働省\)](#)

2. 年齢別発生状況

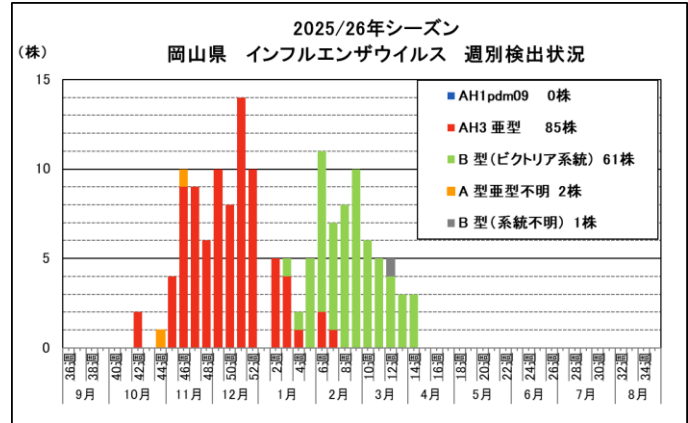
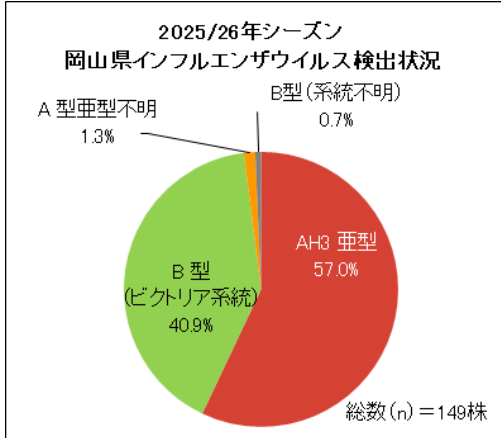


※定点医療機関は、小児科定点 (28 医療機関) が内科定点 (22 医療機関) に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。

3. インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは149株で、AH3亜型が85株、B型（ビクトリア系統）が61株、A型亜型不明が2株、B型（系統不明）が1株となっています。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第 17 週	0	0	0	0	0	0	0
累計	1	82	1,017	365	196	21	1,682

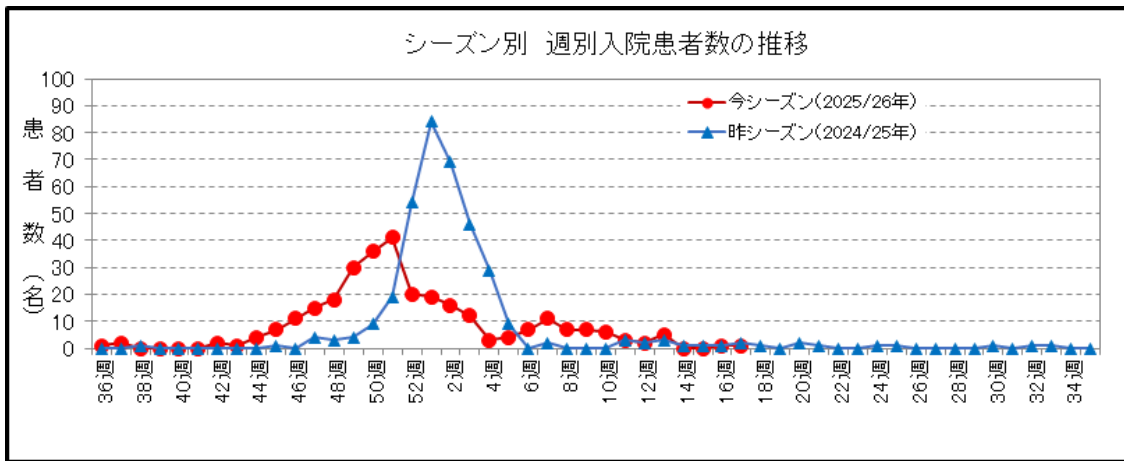
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ [\(R7年度シーズン\) 岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、1名の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 17 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数											1		1
ICU入室*													
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*													
頭部MRI検査(予定含)*													
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず											1		1

* 重複あり

【2025年9月1日（第36週）以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	17	52	28	24	5	2	4	7	10	23	55	65	292
ICU入室 *		1	1					1	1	2	8	2	16
人工呼吸器の利用 *		1	1			1		1	1	1	1	2	9
頭部CT検査(予定含) *		1		1				2	1	5	10	8	28
頭部MRI検査(予定含) *		8	3	2				1	1		1	3	19
脳波検査(予定含) *		2		2					1				5
いずれにも該当せず	17	41	24	20	5	1	4	4	8	17	41	52	234

* 重複あり

[令和7年度 急性呼吸器感染症（ARI）総合対策に関するQ&A（厚生労働省）](#)

[令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症（ARI）総合対策（厚生労働省）](#)

